

自然エネルギーによる井土浜再生プロジェクト

実施法人：

NPO きらきら発電・市民共同発電所（2015/4/1 設立）

計画の趣旨：

津波被害を受けた仙台市若林区井土浜は、震災前は約100世帯の集落でした。2011年10月まで仙台市は、集落全体を災害危険区域に設定する案を示していましたが藤塚の防潮堤とかさ上げ道路建設計画を理由に、1か月後には県道亘理塩釜線から東側だけを災害危険地域に変更しました。この経過の中で、多くの住人が移転を前提に住宅を解体してしまいました。行政の方針変更で翻弄された井土浜ですが、住民は生産組合をつくるなど、持続可能な集落をめざしています。自然に恵まれたこの地で400年近い歴史にふさわしい事業の一つとして、私たちNPOは、地主さんと協力し50KWの小規模太陽光発電所の建設を行う計画です。

追加的な資金支援が得られれば、この太陽光発電所を核に、自然エネルギーを学び、集い、体感するような地域のスポットに拡充したいと考えました。

計画の概要：

- 1) 土地 約 700 坪（大友家から借用 20 年契約）
- 2) 太陽光発電所 50KW（東北電力に売電） 面積約 350 坪

以上が NPO 独自の計画で、資金約 1800 万。趣旨に賛同する市民の協力基金で集めています。以下、残りの 350 坪について、

- 3) 花壇（復興バラ園）と有機野菜の畑
- 4) 井戸設備 と メダカの再生
- 5) 風力発電（5KW）+太陽光パネル（5KW）と充電装置（5KWh）
- 6) 自然エネルギーの家（トレーラーハウス） 動力はすべて5) で供給
- 7) 作業小屋（農機具や作業台など）
- 8) 放射線量測定器（自分たちの育てた野菜などを測定、非破壊式）

3) 以降は、資金支援が可能であれば実現したい。

(様式第1号)

みやぎ地域復興支援助成金交付申請書

平成27年 4月13日

宮城県知事 村井嘉浩 殿

(申請者) 所在地 981-3215 宮城県仙台市泉区3丁目17番12号
名称 NPOきらきら発電・市民共同発電所
代表者職・氏名 水戸部 秀利 印

標記について、下記のとおり申請します。

記

1 事業名

自然エネルギーによる井土浜再生プロジェクト

2 事業者名

NPOきらきら発電・市民共同発電所

3 タイプの別 (いずれかを○で囲んでください。)

総合タイプ ・ 特定タイプ

4 交付申請額

金 10,000,000 円

5 添付書類

- (1) 事業者概要 (様式第2号)
- (2) 事業計画書 (様式第3号)
- (3) 収支計画書 (様式第4号)
- (4) 本人確認書類 (登記事項証明書, 定款, 規約等)
- (5) その他知事が必要と認める書類

(様式第2号)

事業者概要

<NPO等, 企業, 任意団体様式>

事業名	自然エネルギーによる井土浜再生プロジェクト	電話番号	022-379-3777
		メールアドレス	kirakirahatuden@outlook.jp
事業者名及び代表者職・氏名	NPOきらきら発電・市民共同発電所 理事長 水戸部秀利	URL	
		設立年月日	2015年4月1日
所在地	981-3215 宮城県仙台市泉区北中山3丁目17番12号	人数	常勤(0名)非常勤(1名)
		担当	広幡文
組織 (あてはまるものに☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 <input type="checkbox"/> 公益法人 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人 <input type="checkbox"/> 学校法人 <input type="checkbox"/> 協同組合 <input type="checkbox"/> 地縁組織 <input type="checkbox"/> ボランティア団体 <input type="checkbox"/> 株式会社 <input type="checkbox"/> 有限会社 <input type="checkbox"/> 合名会社 <input type="checkbox"/> 合資会社 <input type="checkbox"/> 医療法人 <input type="checkbox"/> その他()		
収入額・売上額 (直近3年の決算期ごと金額)	(年 / 月)		円
	(年 / 月)		円
	(年 / 月)		円
団体の沿革及び最近の動向等	2015年4月1日登記したばかり、7月以降に井土浜に50kw太陽光発電設置の予定。		
代表者略歴	2004年～2014年財団法人宮城厚生協会(途中公益財団法人に変更)理事長 2014年4月より仙台市若林区若林クリニック所長就任 2015年4月、クリニック所長を務めながら、NPOきらきら発電理事長に就任		
関連団体・企業	事業者名 () 活動内容 ()		
活動実績 アピールポイント	元々2015年7月以降井土浜に50kw太陽光発電を設置するとともに、花壇作り・有機野菜作り・メダカ再生などに取り組む考えでした。井土浜は被災直後災害危険区域とされたため、多くの住民が移転前提に住宅を解体しました。自然に恵まれた井土浜地区再生のため、自然エネルギーを学び集い、体感できるスポットを作っていきます。		

※活動内容のわかる資料があれば、添付してください。

<市町村様式> (市町村が実施主体の場合に、記入してください。)

事業名	担当部局	
	電話番号	
市町村名	メールアドレス	
	担当	

事業計画書

事業名	自然エネルギーによる井土浜再生プロジェクト	事業者名	NPOきらきら発電・市民共同発電所
-----	-----------------------	------	-------------------

事業の背景 (活動地域の状況、活動に至った理由)	<p>津波被害を受けた仙台市若林区井土浜は、震災前は約100世帯の集落でした。2011年10月まで仙台市は集落全体を災害危険区域に設定する案を示していたため、多くの住民が移転を前提に住宅を解体しました。</p> <p>それでも住民は生産組合をつくり、集落共同体の継続をめざしています。自然に恵まれた400年近い歴史を持つ井土浜にふさわしい事業として、私たちは住宅跡地をお借りして自然エネルギー発電を行い、人々が集えるスポットを作り、井土浜再生に寄与したいと考え、NPOを立ち上げました。</p>
事業の目的	<p>今回の補助制度を活用し、太陽光発電所だけでなく、自然エネルギーを学び、集い、体感するような地域のスポット作りをすすめ、仙台市民に足を運んでもらえる地域としたいと考えます。</p>
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 太陽光発電所設置(50kw) 東北電力に売電 2) 花壇(復興バラ園)と有機野菜の畑 3) 井土設備の確保とメダカ再生(メダカ再生は八木山動物公園連携) 4) 風力発電(5kw)・太陽光パネル(5kw)・充電装置設置 5) 自然エネルギーの家(トレーラーハウス) 動力は上記4)で供給 6) 作業小屋(農機具や作業台) 7) 放射線測定器(自分たちの作った野菜などを測定・非破壊式)
実施体制 (組織形態)	<p>NPOきらきら発電に「井土浜再生プロジェクトチーム」を組織。若林区復興市民会議からも、プロジェクトチームに参加をいただく。雄勝花物語に参加している仙台市民の協力・指導をおおぐ。</p>
事業の活動地域	仙台市若林区井土字宅地

事業計画書 (継紙)

事業の分野 (あてはまるものに☑, 複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> まちづくり・コミュニティ支援 <input type="checkbox"/> 起業支援・6次産業化支援 <input type="checkbox"/> 観光振興 <input type="checkbox"/> 仮設住宅(自治会)支援 <input type="checkbox"/> 子ども支援 <input type="checkbox"/> 県外避難者帰郷支援 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (自然エネルギーを体感)
目指す目標・成果	花・野菜・メダカなどの自然にふれながら、風力・太陽光などの自然エネルギーを体感し、自然のすばらしさを学べるスポットをつくり、そこに市民が集い、持続可能な集落再生をめざす井土浜の人々を支援する。
期待する効果	被災の少なかった仙台市民が被災地若林区に足を運ぶことによって、被災地復興をみんなの力でという意識を高める効果。また復興に向け頑張る地元の人々がみんなに忘れられていないと思える効果。 なによりも自然のすばらしさを体験し、自然を愛する心を育てる。
事業スケジュール	7月～9月＝太陽光発電所設置、花壇・野菜畑作り、ピオトープ作り 10月以降＝自然エネルギーの家設置、小風力発電・小太陽光発電設置 12月以降＝作業小屋設置 来年1月以降＝非破壊式放射線量測定器の設置
その他 (活動実績・アピールポイント)	津波被害を受けた仙台市若林区井土浜は400年以上の歴史を持つ自然ゆたかな地域です。そこで持続可能な集落継続をめざす人々がいます。被災の少なかった仙台市民が若林区井土浜を支援していくことが大切です。
前年度の事業との比較 (※前年度、本事業の採択を受けた団体のみ記入してください。)	採択年度 平成 () 年度, 平成 () 年度 ※前年度の事業との変更部分を記入してください。変更無しの場合は、その理由を記入してください。

(様式第4号)

収支計画書

事業名	自然エネルギーによる井土 浜再生プロジェクト	事業者名	NPOきらきら発電・ 市民共同発電所
-----	---------------------------	------	-----------------------

1 収入

項目	金額	積算根拠(数量・単価等)
太陽光発電・売電	初年度 170 万円	初年度は井土浜のほかに太白区柳生にも設置予定
太陽光発電・売電	次年度 350 万円	
借入金	2570 万円	
補助金	1270 万円	地域復興支援 1000 万円、新エネルギー導入支援
合計①	4010 万円	

2 支出

項目	予算額A	積算根拠(数量・単価等)
土地借用	年間 10 万円	開始当初 700 坪の敷地を借用
太陽光発電設置	2700 万円	70KW 発電(50KW カット)と 30KW 発電
風力発電設置	300 万円	5kw 発電
太陽光設置	100 万円	5kw 発電
トレーラーハウス	500 万円	1 軒
作業小屋	100 万円	1 軒
放射線量測定器	300 万円	1 台
合計②	4010 万円	

3 収支合計

① ② = 0 円